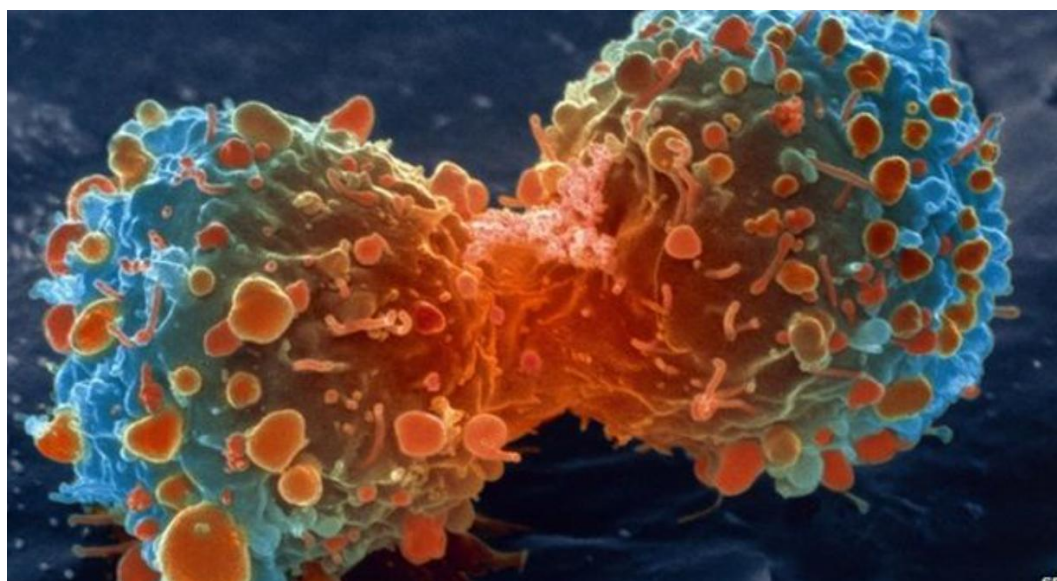
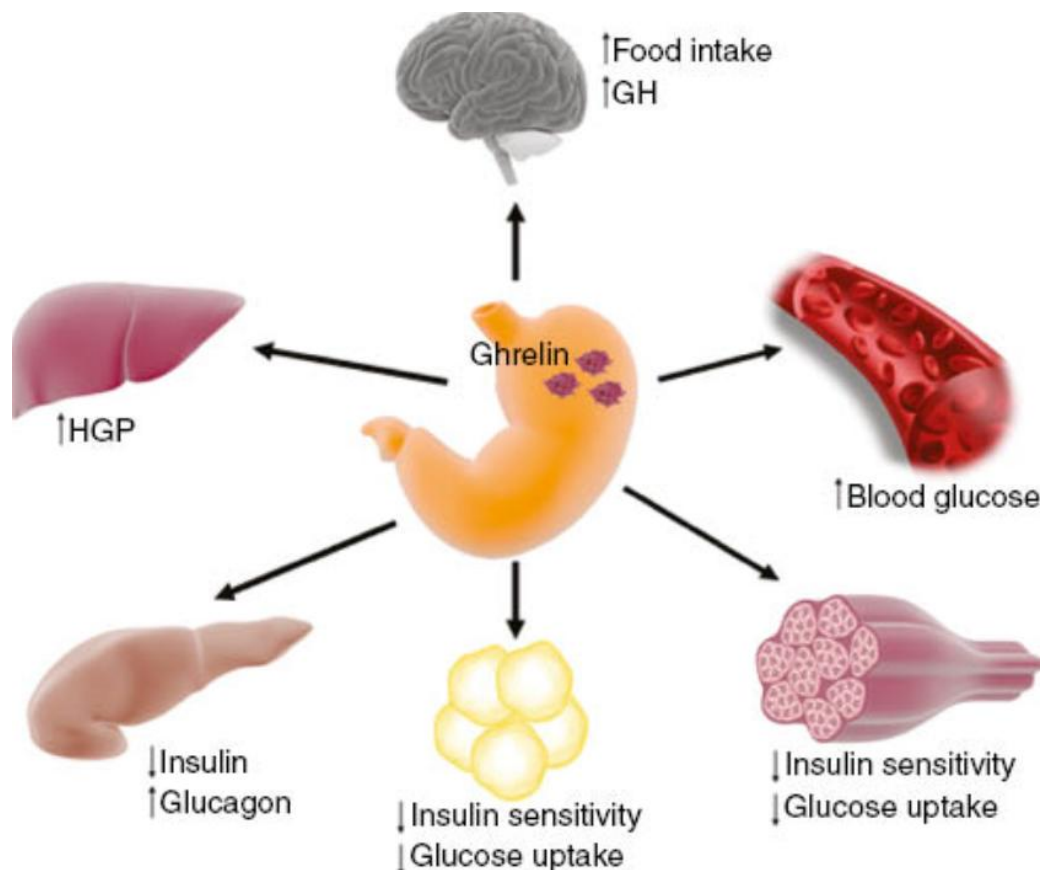


がん悪液質用薬アナモレリン

小野薬品は、「がん悪液質における体重減少及び食欲不振の改善」を予定適応とするアナモレリン塩酸塩（一般名、開発コード：ONO-7643）を日本で承認申請したと発表。がん悪液質は、がんに伴う体重減少や食欲不振を特徴とする複合的な代謝異常症候群。有効な治療手段は確立していませんでした。アナモレリンが承認されれば、がん悪液質に対する初の治療薬となります。



アナモレリンは選択的かつ新規の経口グレリン様作用薬。グレリンは主に胃から分泌される内在性ペプチドで、グレリンがその受容体に結合すると体重、筋肉量、食欲、代謝を調節する複数の経路を刺激します。アナモレリンの臨床試験では、がん悪液質の患者における体重および筋肉量の増加、食欲の増加効果が確認されました。



今回の申請は、主に国内で実施した2つの試験結果に基づきます。ひとつは、非小細胞肺癌患者を対象としたフェーズ2試験

(ONO-7643-04 試験)で、もうひとつは大腸がん、胃がん、すい臓がん患者を対象とした3試験 (ONO-7643-05 試験)。

